

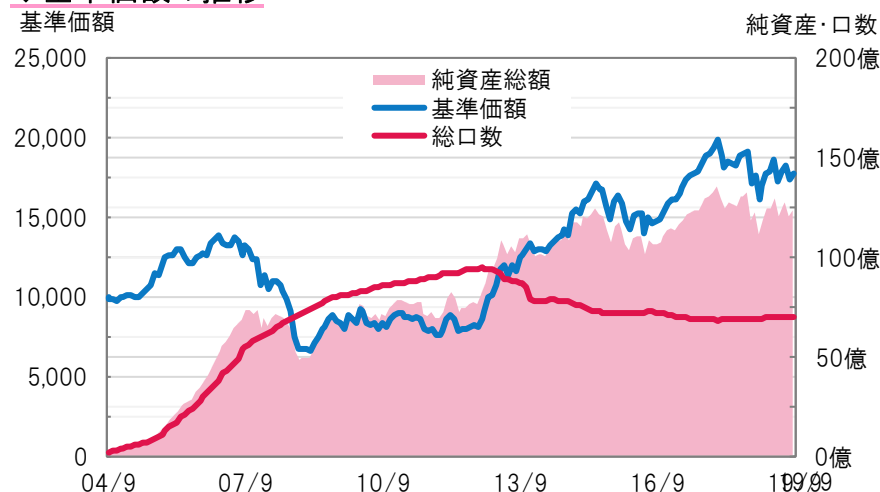
2019
10月

ありがとうファンド 月次運用レポート

第182号②【基準日 2019年9月30日】

39
Arigate Asset
Management Inc.

◆基準価額の推移



◆ファンドの情報

基準価額	17,824円
純資産総額	124億12百万円
口座数	4,802
積立割合	51.7%

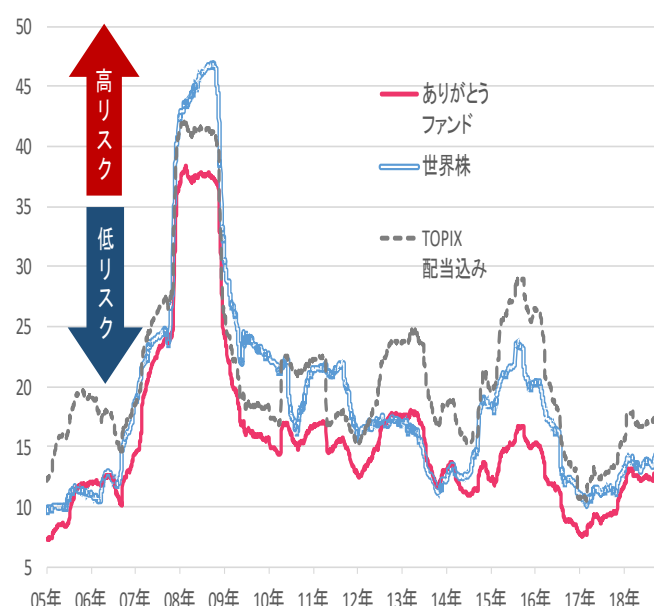


◆ファンドの騰落率

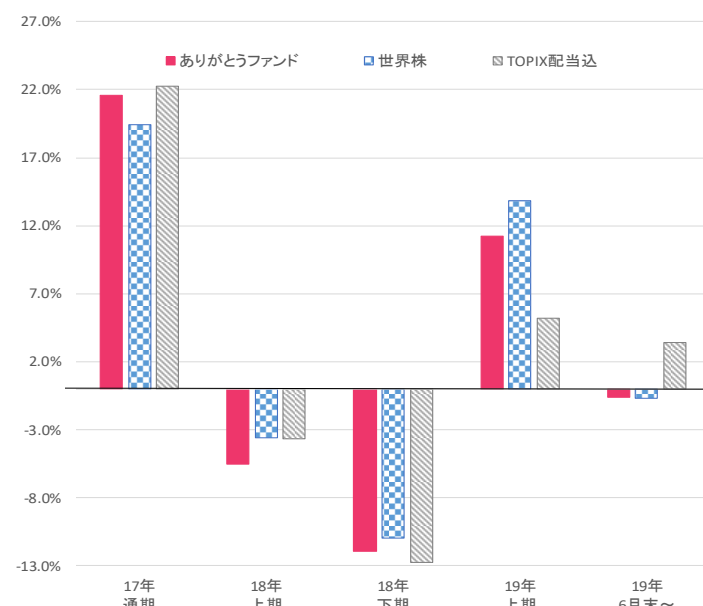
ファンド/参考指数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利	標準偏差
ありがとうファンド	+2.8%	▲0.7%	▲0.3%	▲7.3%	+20.6%	+24.5%	+78.2%	3.91%	16.8
世界株 (配当込み、円)	+3.9%	▲0.7%	▲0.9%	▲4.0%	+33.9%	+31.0%	+206.3%	7.70%	20.4
TOPIX配当込み	+6.0%	+3.4%	+1.0%	▲10.4%	+28.4%	+33.5%	+87.2%	4.24%	21.5

※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、ありがとうファンド設定来(2004年9月1日)からのデータを基に、弊社にて計算しております。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

◆値動きの大きさの推移(250 営業日リスク推移)



◆騰落率比較(2017 年年初～)

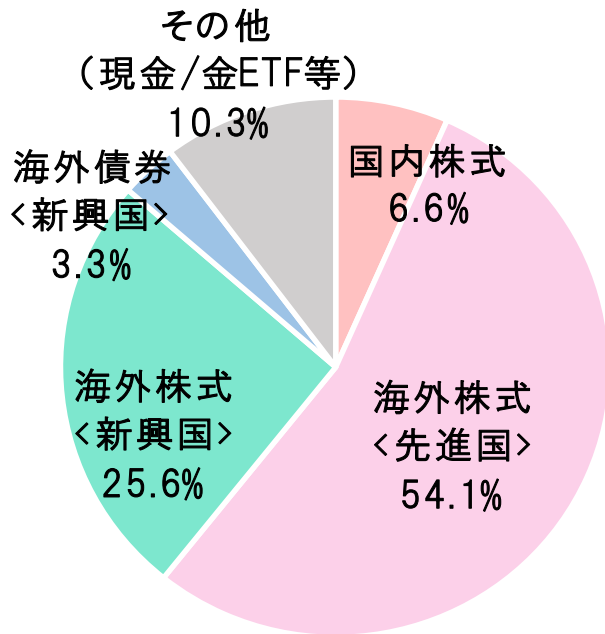


※値動きの大きさの推移について: 設定来の日次リターンを基に過去 250 営業日のリスク(日次リターンの標準偏差の年率換算値)の推移を表したものです。簡単に説明すると、数値が高いほど日々の値動きの幅が大きいことを表し、逆に数値が低いほど日々の値動きの幅が小さいことを表します。ありがとうファンドは値動きの幅を低位に抑える運用を心掛けています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

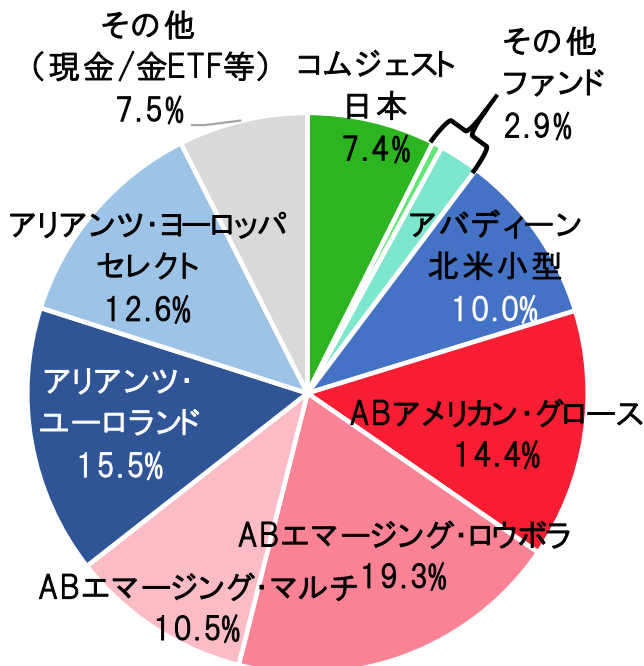
◆資産配分(8月末時点)



地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	6.6%	6%	+0.6%
海外株式<先進国>	54.1%	55%	-0.9%
海外株式等<新興国>	29.0%	33%	-4.0%
その他(現金/金ETF等)	10.3%	6%	+4.3%



◆ポートフォリオ(9月末時点)



◆アクティブシェア(6月末時点、原則四半期末開示)

ファンド名(略称)	アクティブシェア※	参考指数
コムジェスト日本株式	85%	TOPIX
コムジェストヨーロッパ	84%	MSCIヨーロッパ
コムジェストエマージング	83%	MSCIエマージングマーケット
アバディーン北米小型	95%	ラッセル2000
ABアメリカン・グロース	67%	ラッセル1000グロース
ABエマージング・欧州	67%	MSCIエマージングマーケット
ABエマージング・マルチ	株式66% 債券27%(注1)	なし
アリアンツ・ユーロランド	69%	S&Pユーロゾーン・ラージミッドキャップ・グロース
アリアンツ・ヨーロッパセレクト	71%	S&Pヨーロッパ・ラージキャップ・グロース

※アクティブシェアとは、各ファンドのベンチマークもしくは参考指数に対して異なる割合を表しています。上記のアクティブシェアは各ファンドの運用会社の開示を基に掲載しています。注1：ABエマージング・マルチファンドについては、株式と債券複合の運用で参考指数がないため、参考までに各資産の組入比率を開示しています。

◆直近のマーケット動向について



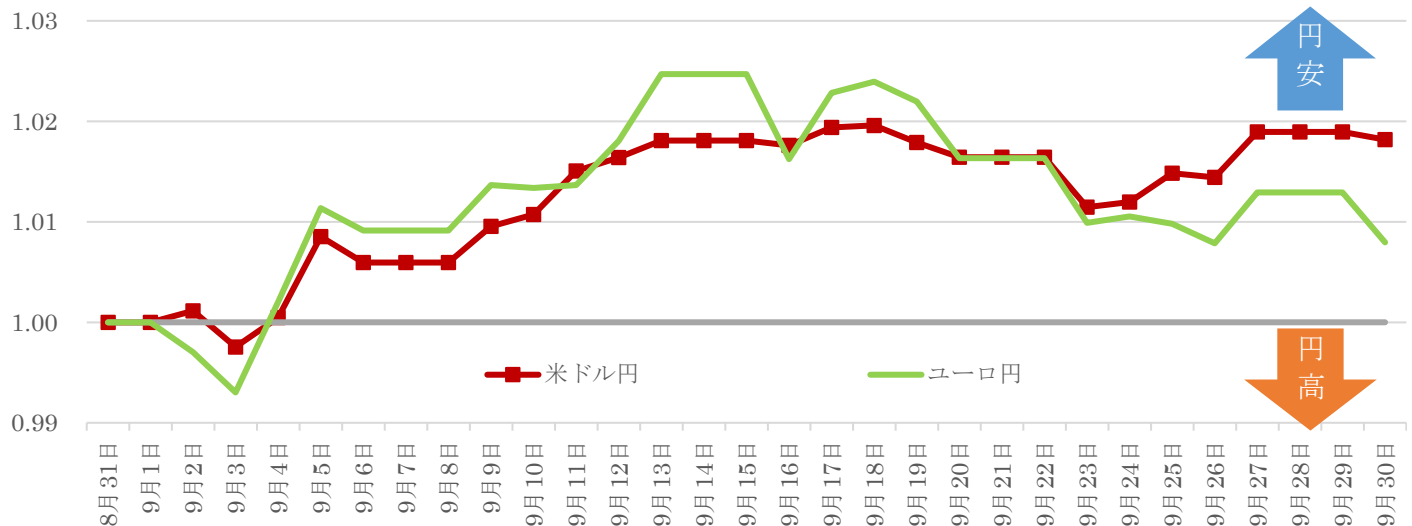
9月のマーケットはどうだったの？

ニュースではかんぽ生命の不適切な商品販売についての会見と、関電金品受領問題なんかが取り上げられていたけど、消費増税なんて忘れるくらい何でもありの世の中よね～。

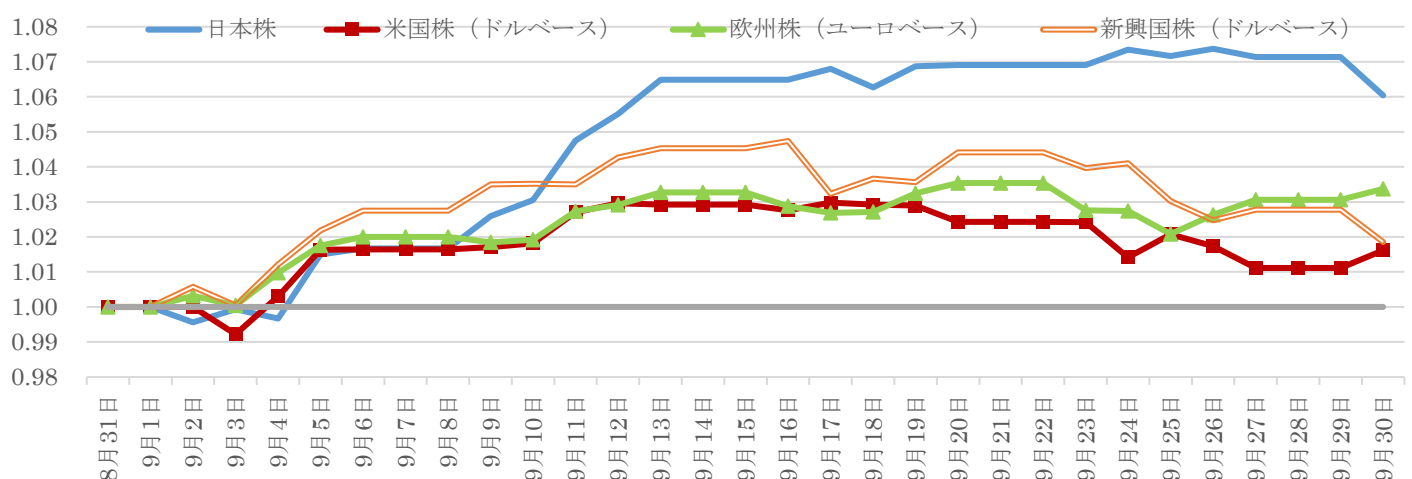


9月のマーケットの動きですが、前月**米国で逆イールド(10年米国債と2年米国債)**が起こり、今まで市場を牽引してきた米国経済の景気後退が懸念され弱気相場になりましたが、今月はその世界景気への極端な弱気が影を潜め、米国長期金利が急激に上昇したことから、世界的なバリュウ相場になりました。さすが世界のバリュウ株と言われている日本株は年初から出遅れた分を挽回すべく、大きく上昇しましたが、割安感で買われた点と、**日本銀行による出口のない日本株式のETF買い支え**など、これから長期的に上昇が続く持続可能なマーケットとは思えません。

【米ドル円、ユーロ円推移】2019年8月30日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2019年8月30日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(使用している指数についてはレポート最終ページの注記を確認ください。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記現地通貨ベースの指数推移を参照していただくと、月序盤から中盤にかけて、日本株が大きく上昇しました。米国長期金利の上昇に伴い、日米の金利差が拡大したこともあり、ドル円相場は円安に推移したことも輸出業を主とする企業の多い日本株にとっては追い風でした。



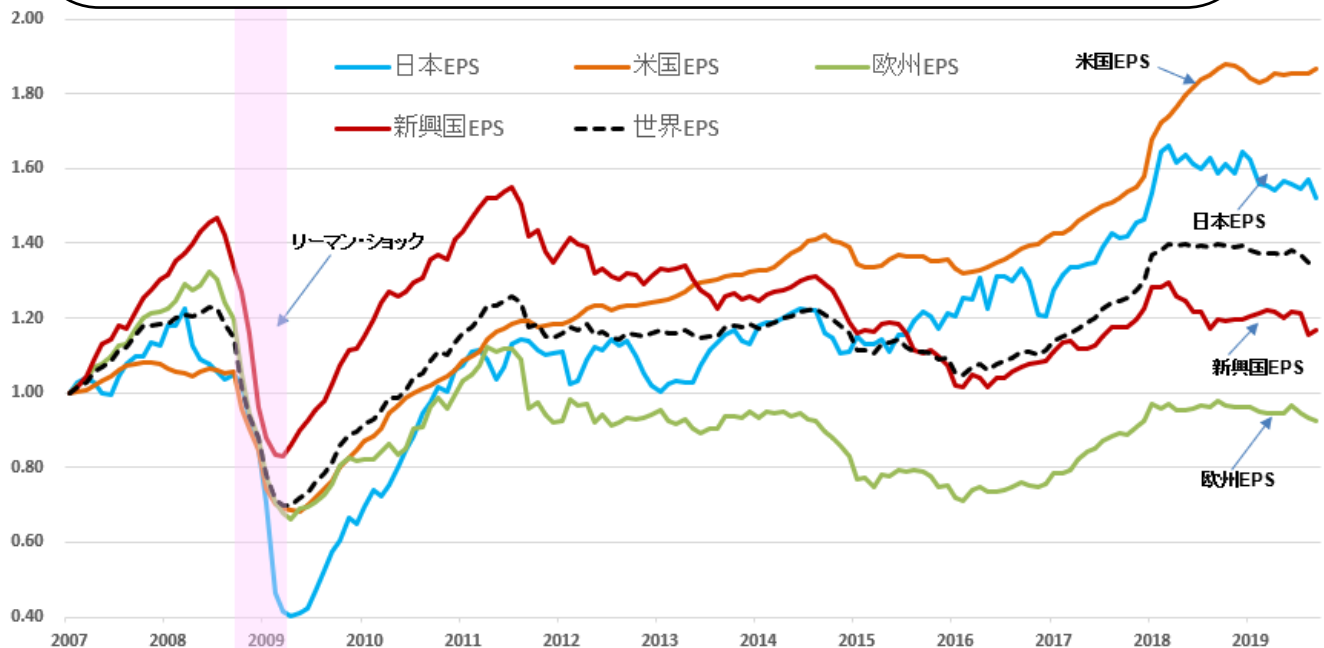
ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

ありがとうファンドの9月月間騰落率は2.8%の上昇となりました。世界株も同様に3.9%の上昇でした。一方、バリュー相場で光る日本株は6.0%の上昇となり日本株がアウトパフォームする1ヶ月でした。ありがとうファンドは主にグロース銘柄に投資する運用方針ですので、こういったボロ株が買われる相場ではついていけない傾向があります。9月中の売買状況については、売買を見送りました。



今後の見通しについてはどうなっているのかね？教えてもらえないだろうか。

今後の見通しについては、各種地政学リスクなど一過性のイベントはあるものの世界経済は引き続きリーマン・ショックからの回復・成長が続くと考えています。ファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長がより注視される市場になるでしょう。下図ではリーマン・ショック前からの4国・地域のEPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。足元では、すべての国・地域で企業利益の成長が鈍化しているように見受けられます。いずれの国・地域においても固有のリスクはありますが、これから中長期の人口動態や、GDP成長率を見る限りエマージング株式市場が最も投資妙味のある地域と考えております。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、EPSは2007年1月末を1として指数化し2019年9月末までの推移

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

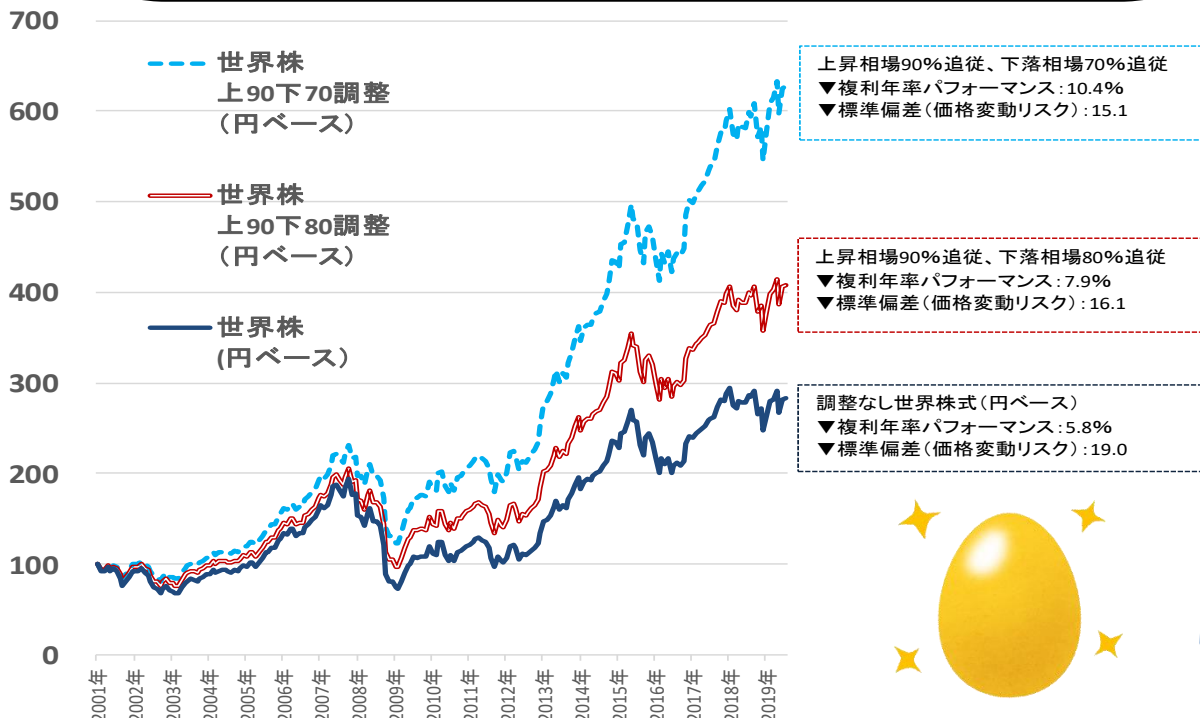
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針についてはどうなっているのかしら。教えてちょうだい。

株式市場という観点から足元の状況を考えると、リーマン・ショック後各国・地域は量的緩和などの金融緩和で各々の経済・市場を支え世界的にカネ余りの状況が続いています。リターンを求めてやや過熱感のある市場も出てきました。このような環境下では一つの市場だけに投資することはリスクが高く、特定の市場に過度に偏ることなく幅広く分散投資することにより長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。ありがとうファンドでは、世界経済の成長をグローバル市場で競争力のある企業の成長に沿った形で享受できるよう、国際分散・厳選・長期投資を継続していきます。

アクティブファンドというと上昇局面で大きく稼ぐといった様な派手なイメージが強いと思いますが、ありがとうファンドでは上昇局面で無理に上値を狙うといった運用よりは市場全体が下落する局面にて市場相対で下げ幅を抑制することにより結果的に長期で安定したパフォーマンスを提供できると考えております。その源泉としては、①実績のある投資先ファンドによる成長企業の厳選、②国・地域別資産配分の見直し・調整、③金ETFなど株式市場と相関が低い資産を組み入れることによる資産分散を主に考えております。下図はあくまでも参考までにですが、上昇局面では90%ほど市場に追従し、下落局面では下落幅を抑制した場合のバックテスト例になります。ダウンサイドリスクを抑制することにより、長期で価格変動リスクを抑えながら運用パフォーマンスを向上できたことが確認いただけると思います。



出所: ファクトセットよりありがとう投信計算、株価は2001年1月末を100として指数化し2019年7月末までの推移

注: 上昇・下落局面は月次騰落率ベースで判断。平均年率パフォーマンスと標準偏差についても月次ベースのデータから計算

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

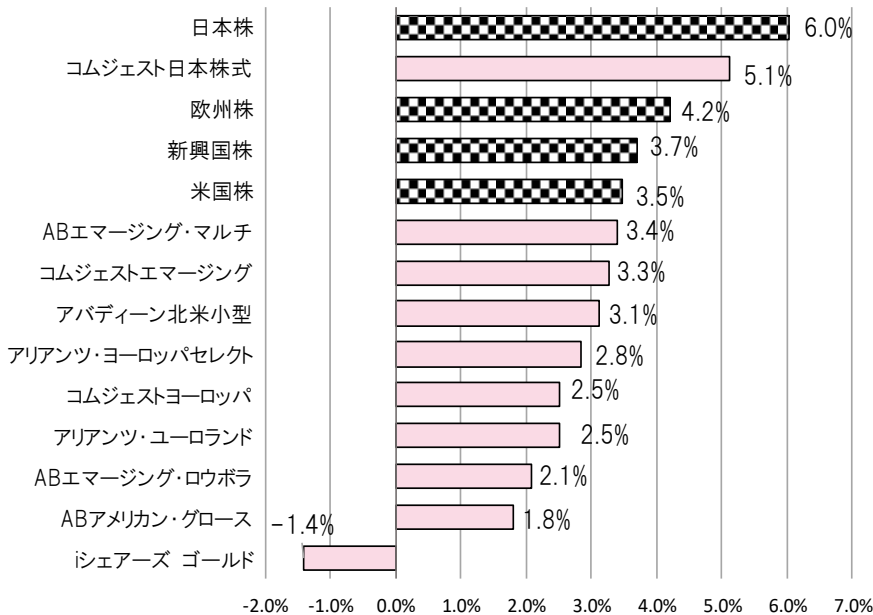


投資先ファンドの状況についても気になる！教えて！教えて！

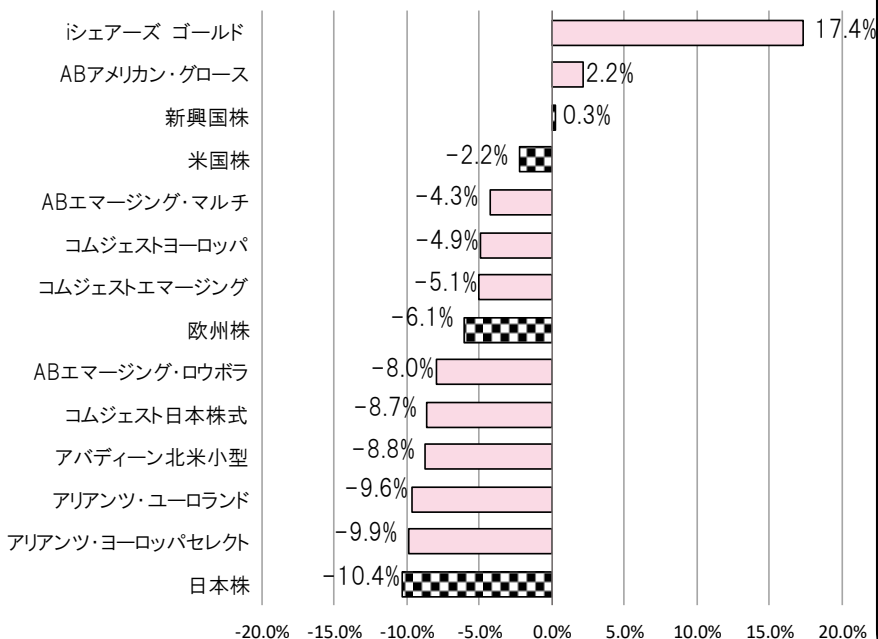


まずは、投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2019年9月末時点)

【月間騰落率】



【年間騰落率】



※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセツトよりデータを参照し、

弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

月間騰落率については、ありがとうファンドの投資先すべてのファンドが市場平均に見劣りするパフォーマンスの1ヶ月になりました。今月はごくまれに起こる瞬間風速的なバリュ相場が到来しましたので、ボロ株だらけのバリュ銘柄を避け、持続的な企業利益の成長が見込まれるグロース株を主な投資対象としている投資先ファンドのパフォーマンスがいまいちな点は受益者の皆様にもご納得いただけたと思います。

転じて年間騰落率を見てみると、日本株のみ二桁マイナスですので、今月の日本株式市場の上昇が日本企業の業績見通しがいきなり改善したからなどではなく、負け過ぎていたところから、海外の外部要因で反発しただけという点も確認いただけたと思います。と言ってみても、欧州株の調子もいまいちな点も事実です。半導体需給や、米中貿易問題に起因するハイテク企業への影響などから、それらの銘柄を多く保有していた点がこれら欧州株の低迷につながっていると考えております。この点は現在全国にて開催している、『[ありがとうファンド第15期運用報告会](#)』の方で詳しく解説させていただいておりますので、ご参加ご検討いただけますと幸いです。

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。（ありがとうファンド運用担当者）



◆投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジェスト日本株式	日本	7.4%	+5.1%	+1.8%	+2.6%	▲8.7%	+46.6%		
	TOPIX 配当込み			+6.0%	+3.4%	+1.0%	▲10.4%	+28.4%	+33.5%	+5.9%
2	ABアメリカン・グロース	米国	14.4%	+1.8%	+1.0%	+2.5%	+2.2%	+71.4%	+92.1%	+13.9%
3	アパディーン北米小型	米国	10.0%	+3.1%	+2.3%	▲0.3%	▲8.8%	+34.5%	+61.0%	+10.0%
	米国株 (配当込み、円)			+3.5%	+1.3%	+2.6%	▲2.2%	+52.9%	+59.2%	+9.7%
4	コムジェスト ヨーロッパ	欧州	0.6%	+2.5%	+0.5%	+3.2%	▲4.9%			
5	アリアンツ・ユーロラント グロース	欧州	15.5%	+2.5%	▲2.0%	+1.9%	▲9.6%	+28.2%	+32.9%	+5.9%
6	アリアンツ・ヨーロッパ セレクト	欧州	12.6%	+2.8%	▲3.4%	▲0.7%	▲9.9%	+23.7%	+22.7%	+4.2%
	欧州株 (配当込み、円)			+4.2%	▲2.0%	+0.5%	▲6.1%	+34.0%	+19.9%	+3.7%
7	コムジェスト エマージング	新興国	2.3%	+3.3%	▲2.6%	▲2.2%	▲5.1%			
8	ABエマージング ロウボラ・エクイティ	新興国	19.3%	+2.1%	▲1.6%	▲2.6%	▲8.0%	+20.4%	+14.8%	+2.8%
9	ABエマージング ・マルチ	新興国	10.5%	+3.4%	▲2.1%	▲3.5%	▲4.3%	+17.6%	+15.9%	+3.0%
	新興国株 (配当込み、円)			+3.7%	▲2.4%	▲6.3%	+0.3%	+8.4%	+3.7%	+0.7%
10	シェアーズ ゴールド・ トラスト	金ETF	2.6%	▲1.4%	+4.8%	+11.2%	+17.4%	+18.6%	+18.7%	+3.5%

注：参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。（レポート最終ページに注記があります。）

【39紹介プログラムもあるよ♪】

（詳しくは『ありがとう投信ホームページ』>『39 紹介プログラム』をご覧ください。）

ご家族・ご友人

39紹介プログラム

紹介を受けた方がありがとう投信の
新規口座開設+定期積立1万円以上を
6ヶ月継続していただくことで
紹介したお客さまと紹介を受けた方に感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈！

3/9
START!

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース

				8月30日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ALPHABET, INC. Class C	アメリカ	コミュニケーションサービス	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	7.4%
2 MICROSOFT CORP.	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	6.6%
3 FACEBOOK, INC. Class A	アメリカ	通信サービス	SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができる。	5.4%
4 UNITEDHEALTH GROUP, Inc.	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ソフトウェア、データコンサルティングサービスを提供する。	5.2%
5 VISA, INC. Class A	アメリカ	情報技術	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.0%

◎アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・ロウ・ボラティリティ・エクイティ

				8月30日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	一般消費財	インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	4.6%
2 TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	コミュニケーションサービス	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	4.4%
3 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	4.2%
4 TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	3.8%
5 NESTLE SA(REG)	スイス	生活必需品	スイスの大手食品メーカーで乳製品、ベビーフード、シリアル、チョコレート・菓子、水、コーヒー、その他飲料などを生産する。	3.6%

◎アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・マルチアセット

				8月30日時点
銘柄	国	業種・種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	3.6%
2 TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	コミュニケーションサービス	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	2.3%
3 LUKOIL PJSC	ロシア	エネルギー	ロシア最大級の石油会社。石油の探鉱、生産、精製、マーケティング、流通に従事している。	2.1%
4 ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	一般消費財	インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	1.5%
5 LI NING CO., LTD.	香港	一般消費財	同社は主にスポーツ用靴、アパレル、用具及び付属品の開発、研究開発、設計、製造、販売と流通に従事する。	1.3%

◎アリアンツ・ユーロラント・エクイティ・グロース

				8月30日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業、数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.5%
2 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	5.6%
3 LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	フランス	一般消費財	LVMHモエ ヘネシー・ヴィトン(LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE)は、多角化した高級品のグループ。ワインやコニャックなどの酒類をはじめ、香水、化粧品、旅行かばん、時計・宝石類の製造・販売を手掛ける。	5.3%
4 AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	4.2%
5 UNILEVER NV	イギリス	生活必需品	日用消費財を提供する多国籍消費財企業。アジア、アフリカと中欧・東欧、米州と西欧の地域別事業を展開する。同社の製品分野は、パーソナルケア、食品、リフレッシュメント、ホームケアに分けられる。	3.6%

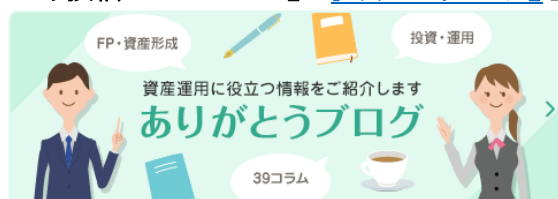
◎アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト

				8月30日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業、数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.4%
2 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	5.4%
3 DSV A/S	デンマーク	資本財	運輸グループ持株会社。トラック、船舶、航空輸送サービスや倉庫・ロジスティクスなどのサービスを手掛ける。欧州、北米、極東地域で事業を展開する。	4.9%
4 NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	90年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきた製薬会社。インスリンのマーケットシェアは5割前後に至る	4.6%
5 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	4.1%

◎アパディーン・グローバル・ノースアメリカン・スモラーカンパニー・ファンド

				8月30日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 GLOBUS MEDICAL INC	アメリカ	ヘルスケア	医療機器メーカー。脊椎障害患者の治療用製品の設計・開発・商品化を専門に手掛ける。先端技術と製品を提供。	3.0%
2 BJ's WHOLESALE CLUB HOLDINGS INC	アメリカ	生活必需品	食料品から衣類、家具まで何でも揃うアメリカの会員制卸店。コストコのライバル企業の一つでもある。	2.8%
3 NEENAH INC	アメリカ	素材	グローバルな製紙会社。さまざまな用途に使用される高級紙、用途別用紙、および特殊製品を製造する。米国とドイツで事業を展開する。	2.8%
4 CASELLA WASTE SYSTEMS INC	アメリカ	資本財	廃棄物処理会社。米国東部で固形無害廃棄物の総合処理サービスを手掛ける。廃棄物の収集、運搬、処理、リサイクルサービスを提供し、リサイクル物質を利用して蒸気や最終製品を製造する。	2.6%
5 PEGASYS INC	アメリカ	情報技術	ソフトウェアメーカー。顧客関係管理(CRM)用ソフトウェアを開発する。決済業務の多い企業向けに顧客関連の事務処理自動化ソフトウェアに注力。	2.4%

【ありがとうブログも見てね♪】
(詳しくは『ありがとう投信ホームページ』>『ありがとうブログ』をご覧ください。)



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◎コムジェスト日本株式ファンド
マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ファーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	カジュアル衣料専門店「ユニクロ」をグローバルに展開する。近年はアジアなど海外での店舗数拡大を加速	3.5%
2 ダイワ	日本	資本財・サービス	立体自動倉庫やコンベヤなど、搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリング(=マテハン)システム・機器のメーカーで、世界でもトップクラスのシェアを持つ。	3.5%
3 キーエンス	日本	情報技術	FA(ファクトリーオートメーション=工場自動化)用センサーをはじめとする各種センサー、測定器、画像処理機器、制御・計測機器、研究開発用解析機器などの開発、製造、販売を行う。	3.5%
4 パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	日本	一般消費財・サービス	「驚安の殿堂」をキャッチフレーズに深夜まで営業する総合DS(ディスカウントストア)「ドン・キホーテ(ドンキ)」を運営。	3.1%
5 HOYA	日本	ヘルスケア	国内初の光学ガラス専門メーカー。メガネレンズ、コンタクトレンズのほか、光学技術を核として多角化を推進。半導体の回路の原版となるフォトマスク、マスクブランクス(描画前のフォトマスク)など高シェア製品が多い。	3.0%

◎コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド
マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 エンローレルックスオティカ	フランス	一般消費財・サービス	光学製品メーカー、世界56か国に展開、遠近両用レンズのVariluxで有名	5.0%
2 ロシュ・ホールディング	スイス	ヘルスケア	医薬品事業と診断事業を主軸とし革新的な薬剤の開発、疾患の早期発見、正確な検査用の診断関連機器・試薬の開発を手がける。	4.4%
3 ASMLホールディング	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	4.0%
4 ハイネケン	オランダ	生活必需品	飲料メーカーでアルコール飲料と非アルコール飲料を製造。アフリカ・中東・東欧、アメリカ、アジア太平洋、欧州の事業部門からなる。	3.9%
5 インディテックス	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名、世界のファッション・アパレルのリーディングカンパニーの一つ	3.9%

◎コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド
マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ピンアン・インシュアランス(中国平安保険)	中国	金融	生命保険、損害保険、銀行、証券等の事業を手掛ける中国の金融機関。	7.0%
2 BBセグライダー・パルティチパノエス	ブラジル	金融	保険会社・投資するほか、保険ブローカー業務も手掛ける。保険商品、オープン年金制度、特別貯蓄債券を提供するほか、証券仲介サービスも手掛ける。	4.2%
3 サムスン電子	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	3.9%
4 ネットイーズ(網易)	中国	コミュニケーションサービス	オンラインゲームやインターネットサービスを手掛ける。オンラインゲーム事業、広告サービス事業、電子メール・無線付加価値サービス・その他事業の3事業を展開。	3.9%
5 台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	3.9%

【ありがとう39ブログ・シリーズ♪】

【ありがとう39ランキング】



2019年07月26日(金)

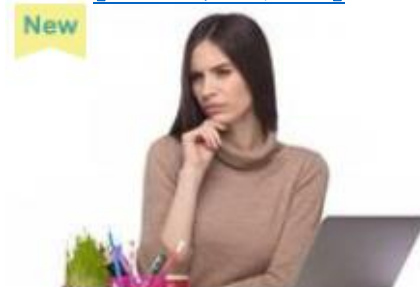
ありがとう39ランキング【テクノロジーサービスセクター：⑤中国のテクノロジー企業&その他】

トレンド 投資先ファンド・銘柄

運用トピックス

運用者メッセージ

【ありがとうトピックス】



2019年08月28日(水)

躊躇なき戦い(ちゅうちょなきたたかい)

運用トピックス

運用者メッセージ

【ありがとう39クッキング】



2019年08月07日(水)

ありがとう39クッキング【磯野家のアヒージョ】

ライフ

【北大東島】



2019年05月21日(火)

ありがとう39ツアー【翔んで北大東！】

ライフ

【南大東島】



2019年05月21日(火)

ありがとう39ツアー【南大東～三九の春～】

ライフ

【ありがとう39ツアー】
もあるよ♪♪♪

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.6% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→ TOPIX 配当込み(税引き前配当再投資)

【世界株】→ FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)

【米国株】→ FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)

【欧州株】→ FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)

【新興国株】→ FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)



■R&I ファンド大賞について

「R&I ファンド大賞」は、R&I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&I が保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。